

令和6年度 講習テキスト追加、修正資料

○テキスト『第3章 排水設備の設計・施工、第2節 屋内排水設備、3設計 (6) 阻集器』の文章の差し替え [39 ページ]

【現テキスト文章 (削除)】

(6) 阻集器

油脂、ガソリン、土砂、その他下水道施設の機能を著しく妨げ、又は排水管等を損傷するおそれのある物質あるいは危険な物質を含む下水を公共下水道に排水する場合は、阻集器を設けなければならない。

【修正テキスト文章 (差し替え)】

(6) 阻集器

排水中に含まれる有害危険な物質、望ましくない物質又は再利用できる物質の流下を阻止、分離、捕集し、自然流下により排水できる形状、構造をもった器具又は装置をいい、公共下水道及び排水設備の機能を妨げ、又は、損傷するのを防止するとともに、処理場における放流水の水質確保のために設ける。

○テキスト『第3章 排水設備の設計・施工、第2節 屋内排水設備、3設計 (11) 通気』の文章の追加 [45 ページ]

【現テキスト文章】

(11) 通気

排水系統には、各個通気、ループ通気、伸頂通気方式などを適正に組み合わせた通気管を設ける。

【修正テキスト文章 (追加)】

(11) 通気

排水系統には、各個通気、ループ通気、伸頂通気方式などを適正に組み合わせた通気管を設ける。

通気管は、排水管内の空気が排水管の各所に自由に流通できるようにして、排水によって管内に圧力差を生じないようにするものであり、次のような目的のために設ける。

○テキスト『第3章 排水設備の設計・施工、第3節 屋外排水設備、4施工 (1) 排水管の施工』の文章の差し替え [78 ページ]

【現テキスト文章 (削除)】

6) 埋戻し工

埋戻しは、原則として管路の区間ごとに行い、管の移動、損傷等を起こさないよう注意し、入念に突き固めながら行い掘削した日のうちに埋め戻すようにする。

①管の布設後、接合部の硬化を確認する。

【修正テキスト文章 (差し替え)】

6) 埋戻し工

埋戻しは、原則として管路の区間ごとに行い、管の移動、損傷等を起こさないよう注意し、入念に突き固めながら行い掘削した日のうちに埋め戻すようにする。

①管の布設後、接合部の硬化をまって、良質土で管の両側を均等に突き固めながら入念に埋め戻す。